

## 分析機器部門講習会シリーズ

## 次世代シーケンサーにおけるサンプルQCの重要性

## 要旨

表題の通り、使用説明会を下記のように開催いたします。ご使用予定の方はぜひご出席ください。

日 時 : 平成25年11月14日(木) 15:00~17:00

使用機器 : Mxシリーズ、Agilent2100

受講対象 : 利用者

講習内容 :

1. 15:00 - 16:00

核酸(DNA/RAN)サンプルの品質の重要性)

アジレントテクノロジー(株) バイオアプリケーション 津本裕子

次世代シーケンサーで確実なデータを得るためには、出発サンプルであるゲノムDNAやRNA、調製後のライブラリ等のサイズ確認と定量を確実にを行う事が非常に重要です。バイオアナライザを使用することで、少量のサンプルで高精度かつ高感度の分析を行うことができます。本セミナーではサンプルQCのポイントをアジレント SureSelect 及び HaloPlex の実験ワークフローにおけるQCを中心に紹介します。また、より簡単に迅速なQCが可能な TapeStation も合わせてご紹介します。

2. 16:00 - 17:00

ライブラリーの定量(qPCRで上手に使いましょう!)

アジレントテクノロジー(株) バイオアプリケーション 吉田悟

次世代シーケンサーで使われるライブラリーの量を至適化するために定量PCRが使われます。キットを使って簡単に得られる定量結果ですが、出てきた結果は自分で評価しなければなりません。今回はこの場面で使われる絶対定量法にフォーカスして定量PCR法の基本をご紹介します。次世代シーケンスを始めるに際して、定量PCRを初めて行うという方、基本を再チェックしておきたい方にお勧めのセミナーです。

場 所 : 医系研究棟2号館7階ゼミ室

定 員 : 10名

申込期間 : 平成25年11月6日(水)まで

申込方法 : 電子メールで、subjectを「Mx2013NGS」として、「所属講座」、「氏名」、「内線番号」、「電子メールアドレス」を明記の上、  
yitoh@med.nagoya-u.ac.jp宛にお申し込みください。

## お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

担当:伊藤(内線:2403、Email: yitoh@med.nagoya-u.ac.jp)

※Webでも講習会情報を掲載しています (<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/workshop/index.html>)